

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応（アップデート）

2026/1/30

・2024年5月20日に開示しました、中期経営計画における「資本コストや株価を意識した経営」について、以下の更新を行いました。

資本コストの再設定

- ・ **長期金利の上昇等を踏まえ、資本コストを再設定。**
当該資本コストを超えるROEの実現を目指す。

BSマネジメント 方針の導入

- ・ **ROE向上のため、最適なBSの姿を目指していくBSマネジメント方針を導入。**
- ・ **従来の配当性向による配当に代えて、BSマネジメントに基づく株主還元を実施。**

◎CAPMによる株主資本コストの推計

金融市場環境の変化を踏まえ
株主資本コストを**約9.0%**と認識します

$$\text{リスクフリーレート} + \text{β値(市場感応度)} \times \text{リスクプレミアム} = \text{株主資本コスト(参考値)}$$

2.2% + 0.98~1.16 × 6.0% = 8.1%~9.2%

長期国債利回り

当該資本コストを超えるROEの実現
を目指します

- ・ROE向上のため、BSマネジメント方針を設定し、投下資本の最小化を追求する。
- ・26年3月期の期末配当は従来の配当性向にとらわれず、BSマネジメントに基づく配当を予定する。

